

気づこう、学ぼう、やってみよう、 私たちの逢坂から

大津市立逢坂小学校

子どもたちが環境に対する意識を高め、主体的に環境に関わる力をつけていけるよう、「気づこう、学ぼう、やってみよう、私たちの逢坂から」を活動テーマにして、身近なことから取組を進めている。

1 はじめに

本校は、平成15年度から、滋賀県のエコ・スクール実践校の認定を受け、子どもたちが体験的な活動を通して環境保全に対する意識を高め、主体的に環境に関わる力を身につけていけるような取組を進めている。広い校地と、市街地にありながらも恵まれた自然環境の中で、子どもたちはビオトープや近くにある吾妻川で生き物の観察をしている。また、地域の「逢坂の川を愛する会」の方々と一緒になって、吾妻川の清掃やエコ活動を行ったり、古紙のリサイクルやごみの減量、クリーン活動などに全校で取り組んだり、より良い学校や地域づくりを目指して、身近なことから環境の学習を進めている。

2 恵まれた自然環境

校庭には、多くの樹木が植えられ、校舎に迫る裏山の自然とともに、四季の移り変わりを感じることができる。近くを流れる吾妻川には、小さな水生生物がたくさん生息し、川に入って直に生き物に触れたり、水の感触を味わったりすることができる。

近年、餌を求めて下りてくる鹿の糞や足跡が多く見られるようになり、学年園の野菜や植物が被害に遭うことが多くなってきている。

3 各学年等の取組

総合的な学習の時間や生活科の学習で、次のような環境学習を進めている。

- | | |
|------|--|
| ◇1年生 | 「あさがおを育てよう」
「丸山公園で自然にふれ合おう」
「秋と遊ぼう」他 |
| ◇2年生 | 「大根を育てよう」
「ビオトープでざりがにを見つけよう」 |

(1) 1・2年生の取組

校庭や公園、ビオトープでのびのびと遊び、生き物や草花、木、風、太陽の光など身近な自然を五感を通して、体いっぱいを感じるよ

うな学習を行っている。特に、2年生は大根の栽培に取り組み、収穫した野菜をみんなで楽しく調理して、試食した。

(2) 3年生「逢坂のまちのひみつをさがそう」

子どもたちが、校区を探検し、地形や森林などの様子を観察し、校区の特徴をつかむという学習を行った。

また、「私たちはエコスクールキッズ」をテーマに、自分が家庭で取り組んでいる「身近なエコ調べ」から学習を始めて、節電や節水などのエネルギーの消費を少なくするエコ、使った物を違う製品に変えるリサイクルなど、さまざまなエコを発見した。また、10月からは自分が興味をもったエコ活動について、インターネットで調べ、グループで模造紙にまとめて発表会を行った。

(3) 4年生「吾妻川のひみつをさぐる」

総合的な学習の時間（「逢愛タイム」）を使って、現地での体験学習を通して、身近な水環境について学習した。



吾妻川の水生物調べ

吾妻川上流では、おもに水生生物の観察を行った。また、大津市の環境フォーラムの方々に来ていただき、水生生物の種類や水質などについて教えていただいた。さらに「川のごみ」、「川のまわり」、「川の利用」、「川の植物」など、グループ毎に子どもたちが課題を

設定し、身近な水環境について追究することができた。

(4) 5年生「琵琶湖環境学習」

フローティングスクールの事前学習の充実を図るため、琵琶湖の環境について考える学習に取り組んだ。また、カヌー体験や琵琶湖の水環境についての学習などを行った。

(5) 6年生「地球環境の学習」

森林・大気・水・エネルギーなどについて自分なりに課題をもって調べ、地球環境について考えた。

(6) わかば学級「さつまいもの栽培」

毎年、さつまいもの栽培に取り組み、収穫したさつまいもを使った料理を調理し、試食している。今年度も苗を植えた時から、栽培するものの世話をする態度が身につき、休み時間には進んで水やりをする姿が見られた。

4 環境委員会(生き物キラキラ委員会)の取組

学校の玄関にあるエコスクールコーナーの魚の世話や地域を流れる吾妻川の清掃を4年生とともに行き、ボテジャコトラストや琵琶湖博物館と協力して、ビオトープと運動場のプラスチック水そうでイチモンジタナゴの増殖や保護をしている。

5 全校の取組

(1) 古紙のリサイクルやごみの減量

子どもたちに最も身近な紙類のリサイクルに全校で取り組んでいる。学級ごとに古紙回収用の「リサイクル箱」を置き、余ったプリントや工作等で出た端紙などを入れてごみと分別して回収している。これによって、ごみの量はかなり減り、古紙の資源化の意識が定着してきた。

(2) クリーン活動

クリーン条例に基づく年3回の活動(ごみゼロの日・びわ湖の日・県下一斉清掃の日)と合わせて校内クリーン活動週間を設定し、全校で校舎内外の環境美化活動に取り組んでいる。

6 代表的な実践例

6年生の取組「未来のためにできること」

身近な環境問題について話し合い、それぞれの児童が詳しく知りたいと思ったことを課題に設定して、調べ学習を進めた。また、家庭でも節電・節水・ごみの分別などの実践を行い、成果や課題をまとめた。その結果、ごみ問題が予

想以上に深刻であるということや、火力や原子力以外にもいろいろな発電方法があるということに気づくことができた。また、リサイクルについても意識を高めることができた。下記に学習を終えた後に児童が作成した「環境新聞」の一部を抜粋したものを掲載する。

『今、問題になっていること(現状)』

地球温暖化問題は、温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊、砂漠化など多岐にわたる課題を含んでいます。…(中略)…現状では、地球温暖化による環境への影響の程度は科学的に十分に解明されているわけではありませんが、世界が協力して取り組む共通の課題となっています。(児童の新聞から)

『家庭でできる節電7つのポイント』

- (1) こまめにスイッチオフ！
スイッチオフで電気使用は、必要最小限！
 - (2) 待機電力を消滅！
使用していない場合にも電力が消費される待機電力を消滅！
 - (3) エアコンで節電！
設定温度、風向きを調節して節電しよう！！
 - (4) 冷蔵庫で節電！
扉の開閉時間を短く、詰め込む量も考えて節電しよう！
 - (5) 照明で節電！
明るさや消灯時間を調節して節電！
 - (6) テレビで節電！
主電源OFF、明るさ調節で節電！
 - (7) 他にもこんなところで節電！
生活スタイルを見直してみよう！料理でも節電！
- (児童の新聞から)

7 成果と今後の課題

各学年および委員会などの取組の充実を図ることで、子どもたちは環境やエコについてより身近に感じる事ができた。

ビオトープが校舎から少し離れたところにあることや、新しい体育館の建設等の関係で、学年園や畑が限られたものになるなど、学習を進めていく上での課題も多いが、子どもたちは身近な環境が、自分たちの生活と深く結びついていることに気づき、今後も環境をよくしていこうという気持ちをもって実践を進めていこうとしている。

学 校 名 大津市立逢坂小学校
住 所 大津市音羽台6番1号
電話番号 077-522-6753
E - m a i l osaka@otsu.ed.jp